



各務原市社会福祉協議会
尾崎社協だより
No.59
平成27年9月15日発行
尾崎地区社会福祉協議会
発行:深田宏一

地域福祉を考える

今年も尾崎地区社会福祉協議会は、尾崎自治会連合会と共催により地域福祉の懇談会を二回開催しました。少子高齢化社会といわれ、尾崎地区でも高齢者の比率は益々高くなりつつあります。このような状況で、地域によるサポートがクローズアップされてきた中の開催です。

一回目は、四月二十九日に「尾崎福祉講座」として、自治会長、福祉委員、民生児童委員等六十五名の参加者で、福祉についての研修を行いました。

市社協事務局からは、地域社会と自治会の関わりと、社協の理念の説明がありました。尾崎社協事務局からは、昨年度の活動とフェイスブックについて、地域包括支援センターからは、要援護者台帳と自治会との関わりについて、尾崎社協池田副会長からは、民生児童委員の活動についての説明がありました。子育て支援については、親子サロン「プチトマト」責任者の奈須さんから話を聞くことができました。

これらの説明により、福祉活動

の取り組みが理解されたと思われます。自治会長さんはデビューされたばかりなので、今回の講座で福祉についての認識を新たにしたいいただき、自治会活動に役立てていただければと思います。

二回目は、六月二十七日に「尾崎の福祉を語る会」として、自治会長、福祉委員、シニアクラブ代表、民生児童委員、近隣ケアグループ代表等六十八名の参加者で開催しました。五グループに分かれた意見交換会では、自分達が住む地域の身近な問題の共有化や解決の方法を、話し合いの中から探し出すことができました。尾崎地域



2015.4.29 尾崎福祉講座



2015.6.27 尾崎の福祉を語る会

で安心して豊かに住み続けられるためには、自治会員相互がつながりを持ち、地域社会作りをすることが不可欠との認識を、話し合いの中で共有することができました。

この会は、自治会長が福祉委員の活動を理解するのに役立つと思われ、全体的出席者にとつて、福祉問題に取り組む方法を考える契機となり、情報共有する有意義な機会になったと思われたい。

今後の課題として、福祉委員の交流を深める機会の必要性と、近隣ケアグループ間の交流の方法についての問題提起がありました。

「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」

～ 未就園児教室の紹介 ～



現在尾崎団地には、近場を含めて3カ所の保育所・幼稚園があります。各保育所・幼稚園では、それぞれ未就園児を対象にした教室を開いています。

尾崎保育所では、未就園児の親子が保育所で一緒に遊んだり、親同士が子育てについて語り合い交流する「すくすく子育て広場」を開いています。季節の行事や遊具での遊びや制作など、バラエティーに富んだメニューを行っています。毎月第2、第3木曜日(10:00～11:30)に開催しており、事前の申し込みは不要です。



尾崎幼稚園では、「たんぼぼ教室」と、親子サロン「めばえ」を行っています。「たんぼぼ教室」は来年度の入園者を対象に、月2回程度開催しており、子供達には貴重な体験となり、お母さん達には子育ての情報交換の場となると思われます。親子サロン「めばえ」は、満2歳児のお母さんを対象にしており、子育ての

悩みや経験を話しあって、つながりを深め合う場となっています。「たんぼぼ教室」、「めばえ」とも定員があり、事前の申し込みが必要です。



さくら幼稚園では、子育て支援の一環として「さくらんぼクラブ」を開設しています。子供達には、楽しい遊びを見つけ、お友達への関心を深め、集団生活を経験し、環境に慣れ親しむ場として、また、お母さん達の交流の場として利用されています。毎月2回程度、月曜日(10:30～11:30)に開催しています。申し込みは不要で、直接幼稚園に行けば体験できます。



会員(会費)募集にご協力ください

市社会福祉協議会の財源は、会員の会費(一口500円/年)と事業収入や寄付金や共同募金の配分金などです。尾崎地区の昨年度の社協会員は1578世帯で、納入された会費は796,000円でした。この内の40%(318,000円)が市社協から活動費として尾崎社協に交付されました。各自治会長さんや班長さんには、会員募集のお世話をお願いしてあります。地域福祉の充実のために、できる限り多くの皆様が社協会員になっていただけるよう、よろしくご協力をお願い申し上げます。



広報事業委員会

〔担当副会長〕 猿渡郁朗

〔委員〕 川尻和夫、高坂正寛、澤田久美

〔連絡先〕 389-3813(川尻)

「ふつらの 心を あわせに」

ボランティアハウス おびき「コスモスの里」

ボランティアハウス尾崎「コスモスの里」は、高齢者を対象にしたサロンで、小物作り・塗り絵・ゲーム・カラオケ・ちぎり絵など、様々な活動を行っています。毎週の活動は、各班のリーダーに任されており、活動の終了後に次回の活動は何にするかを、各班員と和気あいあいと決めています。各班はそれぞれ得意分野があり、その特徴を出した楽しいものです。

先日は寸劇を行いました。リーダー自ら脚本を書き、演出を担当し、ボランティアの方が役者を演じました。「今までで一番面白かった」、「素人っぽさが

良かった」、「もう一回やって」など、色々な声があがっていました。ボランティアの皆さんも、初めはどうなる事かと不安気でしたが、やってみると楽しく、演技に目覚めた方もみえました。

「コスモスの里」では、ボランティア・利用者という枠を外して、参加者が一緒に楽しく過ごせる時間を持つよう心掛けております。「一度行ってみようかな」と思われる方は、ものは試しです、軽い気持ちで是非一度足を運んで下さい。皆で大いに歓迎します。コスモスの里は、毎週木曜日(10時～14時)に、尾崎中央ふれあい会館で活動しています。



「こぶとりばあさん」の寸劇



健康教室の文字組み合わせゲーム

親子サロン「プチトマト」

親子サロン「プチトマト」は、ボランティアが運営しているサロンで、幼稚園・保育所への就園前の乳幼児とそのママや家庭、そしてマタニティママを対象にしています。

「プチトマト」は、子供の病気や離乳食、買い物、料理などについて、おしゃべりを通してお互いの悩みを共有し、地域の皆さんとのつながりを作り、安心して楽しい子育てをしてもらうための事業です。これは各務原市子育て事業の一つで、誰でも参加できます。

写真は8月4日に訪問した時のもので、子供達は猛暑日にもかかわらず、元気に走り回り、段ボール箱も電車や自動車にして楽しみ、とても遊び上手でした。

毎月2回、第1と第3の火曜日(10時～12時)に、尾崎中央ふれあい会館で開催しています。



連絡先：奈須 鏡子 (尾崎北町7-1-2) TEL058-382-7878

「ぬくもりと やすらぎあふれる 我が町尾崎」

～老後の財産を守ろう・悪質商法被害防止研修会～

7月11日(土)に尾崎中央ふれあい会館で、悪質商法被害防止研修会を開催しました。近隣ケアグループ・福祉委員等の皆さんに参加を求め、見守り対象の高齢者が消費者トラブルに遭わないよう、悪質商法の手口や高齢者からの相談を受ける注意点などを研修しました。

「寸劇グループつくしんぼ」による『点検商法詐欺』『架空請求詐欺』がどのように行われるかの劇は、いかにも実際にありそうで、引っ掛かってしまいそうな内容でした。劇の途中で詐欺に引っ掛からないための解説が入り、笑いを誘うと共に、理解を深める助けになりました。出演の「女優」さん達は、尾崎の近隣ケアグループに属する「お仲間」でしたので、熱演に大きな拍手が起りました。また、全員で「母さん助けて詐欺のうた」を、「モシ

モシ亀よ」のメロディーで歌いました。

研修の締めくくりは、司法書士の久保和英氏の「悪質商法による被害防止について」の講演でした。参加者は58名でした。



寸劇の女優さんの熱演

～みんなで観ました・楽しい子ども映画館～

尾崎夏祭り協賛「子ども映画館」を、8月1日(土)午後に尾崎中央ふれあい会館で開催しました。当日はうだるような暑さの中でしたが来場者の出足は好調で、開会前に会場は満席状態で、用意したお菓子も追加オーダーしました。来場者数は、付き添いの親御さんと合わせて141名の方に来ていただきました。

上映作品は、ムーミン・夜叉が池・ゲゲゲの鬼太郎・ドラえもんアニメ4本で、皆さんお菓子を食べながら鑑賞されました。夏休みの楽しい思い出として、心に残ったと思います。普段、家のテレビの中で見る主人公を、みんなと一緒に大きな画面で見られたことは、良い経験になったと思われます。

「子ども映画館」の様子は、ケーブルテレビCCNetで放映され、その動画ビデオを尾崎社協フェイスブックに投稿してあります。



開会のあいさつ

「夢のある 明るいまちは 福祉から」